

(5) 全学共通科目

1) 日本語

- 日本語は、外国人留学生および帰国子女に限り履修することができます。
- 日本語の修得単位は、選択科目の単位として卒業要件単位に加えることができます。

科目 区分	授業科目	単 位 数	週時間数				備 考
			一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	
選択 科目	日本語（一）	2	F2				①履修することができる者は、外国人留学生および帰国子女に限る。
	日本語（二）	2	F2				①修得単位は、選択科目の単位として卒業要件単位に加えることができる。

2) 特別活動プログラムについて

- 特別活動プログラムは、平成17年度以降入学生に限り履修することができます。

科目 区分	授業科目	単 位 数	週時間数				備 考
			一 年 次	二 年 次	三 年 次	四 年 次	
選択 科目	特別活動(クラブ活動)(一)～(四)	各1					①履修することができる者は、平成17年度以降入学生に限る。 ①修得単位については、92～93ページ③単位認定の特色とカリキュラム上の位置づけを参照すること。
	特別活動(国際学生交流活動)(一)～(四)	各1					
	特別活動(環境マネジメント活動)(一)～(四)	各1					
	特別活動(ボランティア活動)(一)～(四)	各1					

①当プログラム設置の目的

学生諸君が取り組んでいるクラブ活動や社会活動など様々な活動を、本学の「個性ある教育」および人格形成や社会性の涵養など人間教育的観点から意義あるものと位置づけ、積極的に評価し、その単位化を計ることを目的とします。また、それらの活動を単位化することにより、学生諸君の取り組み姿勢を明確にするとともにその内容や意欲のより一層の充実を図ることを合わせて目的とします。

②対象とする諸活動

活 動 区 分	対 象 と す る 具 体 的 活 動
(1) ク ラ ブ 活 動 (一) ～ (四)	農友会各部、同好会、応援団、収穫祭
(2) 国 際 学 生 交 流 活 動 (一) ～ (四)	学生サミット、留学生支援、大学間交流支援など
(3) 環 境 マ ネ ジ メ ン ト 活 動 (一) ～ (四)	学内外環境管理活動
(4) ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 (一) ～ (四)	地域貢献、国際貢献、環境保全、NPO活動、 学習支援活動(小・中学校・クラブ活動支援)、 福祉活動(高齢者・障害者介護支援)など

③単位認定の特色とカリキュラム上の位置づけ

本活動に関する単位認定の特徴は、通常の科目のように教員の教育目標やシラバスに基づき行う講義や実験・実習、その成績評価のシステムではなく、学生自らが主体的に取り組んだ活動について、学生本人が、活動の責任者の承認を受け単位認定を申請するシステムとします(履修申請は不要、活動の指導者、責任者が一括承認も可とする)。最終的には、学生の申請書類(活動記録等)をもとに単位認定委員会が審査し単位認定を行います。

なお、単位数は1年(あるいは短期集中1活動)を1単位とし、申請は単年度申請とします。同一年度における同一活動区分での複数申請は行えません。なお、修得総単位数のうち、一定単位(大学4単位)は卒業要件として認められます。また、取得した単位は、卒業要件

として他学部聴講30単位に含むものとします。また、当プログラムによる修得単位は、年間および学期ごとの履修制限単位数には含みません。

④申請書類提出の手順について

申請書類提出の手順については、学内掲示板および学生ポータルサイトでお知らせします。

各学部、各学科及び課程の目的

各学部、各学科及び課程においては、建学の理念に基づき、人材育成と教育研究の面からそれぞれの目的を以下のとおり定めている。

生物産業学部

本学部は、人類生存の基である生物産業にかかわる生産、加工、流通、ビジネスを取り巻く自然科学的・社会経済的現象を教育・研究の対象とした生物産業学を基盤として、文理融合の教育体系のもとで、生命・食料・資源・環境問題に関する深い知識を持ち、その解決方向を示すことができ、地域社会・国際社会に貢献しうる人材を養成します。

したがって、本学部は食料自給や環境保全など人類共通の課題に興味を持ち、問題解決に向けて意欲的にチャレンジし、生物産業の発展に寄与すると共に、広く社会に貢献できる人材を求めています。

生物生産学科

本学科は、多様な陸圏領域の教育・研究が実践できるように配置した植物系、動物系、資源・環境系の分野において、新しい生物資源の開発や多様な環境に配慮した生物生産力の拡大、生物資源機能の新しい応用などにかかわる理論と技術を教育研究し、国際的な視点で地域産業の発展に貢献できる人材を養成します。

したがって、本学科は食料資源や自然資源の宝庫であるオホーツク圏において、食料資源の生産、管理、生態系の保全、生物資源の機能などに興味を持ち、21世紀人類の課題である人と自然との調和に基づく食料自給率の向上や自然資源の保全に貢献できる意欲的な人を求めます。

アクアバイオ学科

本学科は、豊かな生態系と高い生産性に恵まれたオホーツク海を主たる場として、資源の生物学的知見と、それを育む水圏の環境及び生態系にかかわる知見とを統合的に理解させることを教育研究の目標とし、水圏環境の保全、水産資源の増養殖、解析、管理、未利用資源の開発、漁獲物の利用加工や流通等資する人材を養成します。

したがって、水圏の生物や生態系そして環境はもちろん、これらの保全などにも興味を持ち、オホーツク海から地球全体の生物、生態系や環境に関する問題の解決に積極的にチャレンジする意欲のある人を求めます。

食品香粧学科

本学科は、雄大な自然の下で豊かな感性を育みながら、食・健康産業における素材の性質や機能、製造原理などの基礎から応用までを、講義・実験・実習を通じ、体験的に理解・修得し、新たな製品開発ができるスキルを身につけ、豊かな感性と幅広いスキルで食と健康の問題に対応できる人間力あふれた、21世紀の食品、香粧品、医薬品産業を担う人材を養成します。

したがって、本学科は、自然や食、香り、健康などに興味を持ち、様々な視点から、食や香粧を通じた体の内外からの健康のサポートや、物心両面における生活の豊かさ向上に向けてチャレンジする、意欲的な人を求めます。

地域産業経営学科

本学科は、農林水産業、食品加工業、自然を活かした観光業、環境ビジネスなど、地域産業を支える経営を実践するための経営学理念を修得するとともに、生物産業を中心とした経営体の持続的発展、産業間連携の支援を通じて地域産業の再生・活性化・創造に貢献し、地域産業の担い手たる人材をオホーツクの地・産業をフィールドとして養成する。

教職・学術情報課程

本課程は、知識・品位・技術を兼ね備えた熱意あふれる教員並びに博物館・図書館等における各種情報の調査・収集・整理・保管・検索・提供等の実務に取り組む実践的かつ専門的知識を身につけた学芸員及び司書を養成する。